



出生前検査について  
相談に行く前に、  
考えておきたいこと  
整理しておきたいこと

## 出生前検査について相談に行く前に かんがえておきたいこと 整理しておきたいこと

初版 2016年3月発行

製作 御手洗 幸子（NTT 東日本関東病院 産婦人科）

編集・デザイン 福士 碧沙（一般社団法人 学術コミュニケーション支援機構）

本書の一部あるいは全部を無断で転載、複製（コピー、スキャン、デジタルデーター化）  
インターネット等へ掲載することは、著作者の権利の侵害となり禁止されております。  
本冊子は、公益社団法人 平成27年度東京都看護協会 看護研究助成金の一部を使用しています。

NTT 東日本関東病院 産婦人科外来

2015年度版

ご妊娠おめでとうございます。

体調はいかがですか？まだ、妊娠した実感を持たれない方もいらっしゃるのではないかと思います。妊娠初期は、心身ともに落ち着かない時期です。

妊娠初期の症状はかなりの個人差があります。あなたが他の方と違う感じ方や症状をもつことがあるかもしれません。そのような時は、医療者にご相談ください。また、ゆったりとした時間を意識的にもたれることをお勧めします。

## 目次

わたしはなぜ、この冊子を渡されたの？	3
この冊子は、考えを整理し、この先の選択をサポートするためのものです。	4
出生前検査について、よくある質問にお答えします。	6
ことあと、気にかけて見ていくとよい項目を意識してみましょう。	8
出生前検査の種類と特徴	10
ステージ1	15
ステージ2	16
ステージ3	19
ステージ4	20
遺伝専門外来に行こうと考えているあなたへ	22
最後に	23

本冊子では、下記のポイントを各所で考えていきます。  
考え方や気持ちの整理に役立てば幸いです。

1. 検査を受けたいと思ったきっかけはなんでしょうか？
2. 検査を受けることで、あなたの心配は払拭できますか？
3. あなたが心配な子どもの病気について、その何が心配となりますか？

## わたしはなぜ、 この冊子を渡されたの？



この冊子は、「出生前検査について相談に行く前に、考えておきたいこと、整理しておきたいこと」についてお知らせしています。

●他の施設に相談にいくことを考えていらっしゃる方

●そこまでは考えていないけれど、  
何となくどうしたらいいかよくわからない気持ちを抱えている方

に、お渡ししています。

いま、あなたが知りたいこと、わからないことは何か、また漠然とした気持ちを整理するためにお役立てください。

おひとりおひとりの状況に当てはまらない場合もあるかもしれません。  
まず、読み始めていただき、お困りの際は、スタッフにお声かけください。  
妊娠中を通じて、助産師が中心となって継続的にサポートいたします。  
安心して、ご活用ください。

# この冊子は、 考えを整理し、この先の選択をサポート するためのものです。

「出生前検査について、詳しい話を聞きたい」「出生前検査についてよくわからないけれど、気になっている」「出生前検査を受けたいと、決めています」という方は、遺伝専門外来のある施設へ行って頂く必要があります。

しかし、これらの検査は、誰かに指示されて受けるものではありません。パートナーなどとよく話し合い、納得の上選択するものです。そして、必ず受けなければならない検査でもありません。

この冊子では主に、出生前検査にまつわる情報と、その検査を受けるかどうかの考え方を整理するための項目についてお示しし、この先の選択をサポートすることを目的としています。

施設や相談場所が変わることで、  
「ちゃんと知りたいことが伝えられるかしら？」  
「他の施設に相談に行ったのだから、検査を受けないといけなくなるのではないかしら？」  
「そもそも、わたしはなぜ、検査を受けたいと思ったのか、説明できるかしら？」という気持ちが湧いてくるかもしれません。

この冊子を順に読み進め、考えている事などを書き入れていけば、相談先であなたが聞きたいこと、知りたいことを整理するための参考になります。

ページ通りに読み進めてください。

出生前検査についての特徴や行われている検査に関する説明をします。あなたの考えを整理してみましょう。その次に、出生前検査について、決めていること、困っていることを整理してみましょう。

それぞれのパートの中に、「□(チェックボックス)」があるところは、現在のあなたの今の気持ちに近いものに、チェックをしてください。

あなたの思いや考え方を、  
まとめるために、メモをとり  
ながら読み進めることを  
お勧めします。



この冊子は、出生前検査について、「受ける」「受けない」という選択を、すぐに決めるものではありません。「受ける」と決めて、遺伝専門外来のある施設へ行って、詳しい話を聞いた後、「受けない」という選択をする可能性があります。また、「受けない」という選択をした後も、考えたことや思いを、あなたが必要な時に、助産師や看護師と共に整理していくことを助けるためのガイドブックでもあります。

「検査を受けた場合」も、妊婦健診は変わらずに継続されます。  
安心して戻ってきてください。  
お困りの際は、外来の助産師や看護師にお声をかけてください。



# 出生前検査について、よくある質問にお答えします。

Q. 出生前検査って、そもそも何でしょう？

A. 出生前検査は、おなかの中にいる赤ちゃんとお母さんに異常が無いかなど、健康状態を知るために行われる検査をいいます。広い意味では、妊婦健診で行われている様々な検査がすべて含まれますが、通常は特に染色体の数や構造の変化を調べることや、赤ちゃんの姿や身体の一部の形を調べる検査をいいます。

Q. 検査を受ければ、赤ちゃんの異常が全てわかる？

A. 赤ちゃんは、誰でもある一定の確率（全体の3～5%）で、何らかの異常をもつて生まれる可能性があります。そして、検査の対象となる疾患はとても限られていて、検査の対象となっていない疾患も多数あります。検査を受けたからといって、何でもわかるわけではありません。

Q. 「とりあえず受けておいた方が良い」と知人に言わされたのだけど…

A. この検査は、誰かに指示されて受けるものではありません。パートナーなどとよく相談し、納得したうえで選択するものです。そして、必ず受けなければならない検査でもありません。出生前検査を受けるか否かは、妊婦さんやパートナーの方が検査でわかること・わからないこと・検査のリスク等に関する情報を十分に得た上で決めることが重要です。

## 引用参考文献

- 1) 母体血清マーカー検査に関する見解（報告）平成11年6月23日  
厚生科学審議会先端医療技術評価部会 出生前診断に関する専門委員会  
[http://www1.mhlw.go.jp/houdou/1107/h0721-1\\_18.html](http://www1.mhlw.go.jp/houdou/1107/h0721-1_18.html)[2014. 08.01]
- 2) Brian G. Skotko, Susan P. Levine, and Richard Goldstein  
*Having a Son or Daughter with Down Syndrome: Perspectives from Mothers and Fathers*  
Am J Med Genet A. Author manuscript; available in PMC Oct 1, 2012.  
<http://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC3353148/>

Q. どんな検査があるの？

A. 現在、実施されている診断技術には、羊水検査、絨毛検査、超音波検査、妊婦さんであるお母さんの血液を調べる検査などがあります。それぞれ長所・短所があり、検査を受けられる期間も異なるので、事前にチェックしておきましょう。（P8～10に詳細があります）

Q. 検査の結果によって「生まない」という選択はできるの？

A. 日本の法律では、母体保護法により、「赤ちゃんを理由とした人工妊娠中絶」は認められていません。

Q. 検査を受けるメリットって何でしょう？

A. 出生前検査により、産後すぐに専門家のケアが必要な赤ちゃんへの医療体制が整えられる、また親御さんの心の準備ができるという利点があります。

出生前検査は、事前に赤ちゃんの状態を知ることで産後のケアの準備ができるというメリットがある一方で、「いのちの選別をする」という問題も指摘されています。障がいをもつ可能性はさまざまであり、生まれる前に原因のあった（先天的な）ものだけでなく、後天的な障がいの可能性を忘れてはなりません。障がいはその子どもの個性の一側面でしかありません。障がいの有無やその程度は、本人および家族の幸せ、不幸とは、本質的に関連のないことが明らかにされつつあります。

## 引用参考文献

- 1) 日本産科婦人科学会「出生前に行われる遺伝学的検査及び診断に関する見解」の改訂について  
[http://www.jsog.or.jp/ethic/H25\\_6\\_shusseimae-idengakutekikensa.html](http://www.jsog.or.jp/ethic/H25_6_shusseimae-idengakutekikensa.html) [2014.08.01]

# このあと、気にして見ていくとよい 項目を意識してみましょう。

この後のページから、出生前検査の種類についての具体的な説明をいたします。その際、あなたがどんなことを気にしながら見ていくべきか、少し考えてみましょう。

## MEMO

### 1. 検査を受けたいと思ったきっかけは何でしょうか

あなたが気になった事柄についての検査はあるでしょうか。  
出生前検査にはいくつか種類があります。  
まずはどんな種類のものがあるのかを確かめてみましょう。

### 2. 検査を受けることで、あなたの心配は払しょくできますか？

検査によって、分かる事が違います。  
あなたが求めている事が、きちんと分かる検査はあるでしょうか。  
また、検査によっては流産の可能性が出てくるものもあります。  
メリット、デメリットをよく見て、あなたの希望を満たすものがあるのかを考えてみましょう。

### 3. あなたが気になる子どもの病気について、具体的にはどのようなことを心配に思っていますか？

子どもの病気について、具体的に心配に思っていることは何か、考えてみましょう。

# 出生前検査の種類と特徴

\*施設によって費用は異なります

検査の種類	対象となる胎児疾患	検査の長所	検査の短所	つわりの時期												胎動の自覚	
				妊娠週数	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
非確定的検査 (非襲撃的検査) (流産の危険性を伴わない検査)	血清マーカー(クアトロ)検査	胎児染色体異常	検査が陰性の場合には、羊水検査を回避できるかもしれない。 胎児二分脊椎の診断につながるかもしれない。	確定診断ではない。 対象となる染色体異常は、(18, 21 トリソミー) ※13 トリソミーは対象ではない。													母体血清マーカー 15～20週（結果7～10日） トリプルあるいはクアトロマーカーテスト (費用の目安：約1-2万円)
	母体血を用いた胎児染色体検査 (2013年4月から始まった、臨床試験) ・検査を受ける対象者が限られている。 ・検査が受けられる施設が限られている。	胎児染色体異常	検査が陰性の場合には、羊水検査を回避できるかもしれない。	確定診断ではない。 対象となる染色体異常は、13.18. 21 トリソミー													母体血を用いた胎児染色体検査（新型出生前検査） (9) 10週～ (費用の目安：約20万円)
	ソフトマーカーを用いた超音波検査 (妊娠初期)	胎児染色体異常	検査が陰性の場合には、羊水検査を回避できるかもしれない。	確定診断ではない													ソフトマーカーを用いた超音波検査 11～13週 胎児後頸部の浮腫(NT) 鼻骨低形成(欠損) 三尖弁逆流・静脈管血流
	異常がないかの発見を目的とした超音波検査 ・通常の妊婦健診では実施していない	胎児疾患一般	胎児に対しては、非侵襲的。確定的検査にもなりうる。	検査者によって発見率が異なる。 発見率は決して高くない。													異常がないかの発見を目的とした超音波検査
確定的検査 (流産の危険)	绒毛検査	胎児染色体異常	早い週数に検査が可能	手技が困難 検査に伴う流産1%													绒毛検査 11～15週 (結果：2～3週間) ※実施している施設は少ない (費用の目安：約10-20万円)
	羊水検査	胎児染色体異常、遺伝子異常	ほぼ100%で染色体異常がわかる。比較的手技は容易。	羊水検査に伴う破水 約1/100 流産が起こる確率 約1/200-400													羊水検査 15週～(結果：2～4週間) (費用の目安：約12-15万円)

※「母体血を用いた胎児染色体検査」の対象となる妊婦は、日本産婦人科学会倫理委員会にて、「母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査に関する指針」(平成25年3月9日)が示されています。本検査は、日本医学会臨床部会運営委員会で、認定された施設のみで実施されます。

## MEMO

### 母体血を用いた胎児染色体検査の対象となる妊婦

1. 胎児超音波検査で胎児が染色体数的異常を有する可能性が示唆された者
2. 母体血清マーカー検査で、染色体数的異常を有する可能性を示唆された者
3. 染色体数的異常を有する児を妊娠した既往のある者
4. 高齢妊娠
5. 両親のいずれかが均衡型ロバートソン転座を有していて、胎児が13トリソミーまたは、21トリソミーとなる可能性が示唆されるもの

※縦毛検査、羊水検査など、流産の危険がある検査（侵襲的な検査・確定的検査）は、下の表に該当する場合に、十分な遺伝カウンセリングによる理解が得られた後に、考慮される検査をいいます。

### 羊水穿刺、縦毛採取の適応

1. 夫婦のいずれかが、染色体異常の保因者である場合
2. 染色体異常に罹患した児を妊娠、分娩した既往を有する場合
3. 高齢妊娠の場合
4. 妊婦が新生児期もしくは、小児期に発症する重篤なX連鎖遺伝病のヘテロ接合体の場合
5. 夫婦の両者が、新生児期もしくは小児期に発症する重篤な常染色体劣性遺伝病のヘテロ接合体の場合
6. 夫婦の一方もしくは両者が、新生児期もしくは小児期に発症する重篤な常染色体優性遺伝病のヘテロ接合体の場合
7. その他、胎児が重篤な疾患に罹患する可能性がある場合

検査を受けようと選択する時は、検査の長所と短所をご自身で考える必要があります。

検査を受ける場合は、検査を受けた後のこととも考える必要があります。検査結果について、あなたにとって予期しない結果がもたらされた時は、どうするのかを、考える必要があります。

日本の法律では、母体保護法により、

「赤ちゃんを理由とした人工妊娠中絶」は認められていません。

あなたの希望や考えを  
下記の4つのステージに分けて整理をしていきましょう。  
ここからは、実際に書き入れながら進めるようにしてみましょう。

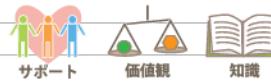
## ステージ 1

これから決めるべきことについて、  
まずは少し、意識を向けてみます。

## ステージ 1

これから決めるべきことについて、  
まずは少し、意識を向けてみます。  
ステージ2以降は、更にそのことを掘り下げて考えていきます。

## ステージ 2



選択をするために必要な要素である  
「サポート」「価値観」「知識」について、現在どの程度満たされているかを考えてみます。  
ステージ2の最後で表にまとめて、現状がわかるようにします。  
そして、今のあなたに足りていない要素を明らかにします。

## ステージ 3

ステージ2で明らかになった要素を補うための、具体的な行動内容をお示しします。  
あなたに必要な次のステップを見つけるための参考にしてください。

## ステージ 4

ステージ3までを踏まえて、  
現段階でのあなたの考えをまとめてみましょう。

1. なぜ、出生前検査が気になっているのか、明らかになっていますか？

はい

いいえ



2. 生まれてくる赤ちゃんの健康状態を知るために、どのような出生前検査があるか、明らかになっていますか？

はい

いいえ

3. 出生前検査は、選択した検査によって受ける期間が決まっているということは明らかになっていますか？

はい

いいえ

出生前検査は、選択した検査によってわかる内容や、受ける期限が決まっています。(P10,11をご覧ください)



## ステージ 2

選択をするために必要な要素である「サポート」「価値観」「知識」について、現在どの程度満たされているかを考えてみます。



1. あなたが相談できる、または相談したいと思える人を挙げてみましょう。また、その人は、どのような面で力になってくれると思いますか？（精神面、知識面、など）

( )



2. あなたは「1」で挙げた誰と、どのようにこの選択について決めたいですか？

( )

- 上に書いた人の意見を聞いて、自分で決めたい  
 上に書いた人と相談して、一緒に決めたい



3. 出生前検査を、「受けける」「受けない」という選択について、あなた自身の主張が優先された状態で選びつつありますか？

はい

いいえ



4. 出生前検査について「受けない」選択をしようと考えた場合、あなたにとってどのようなメリット、デメリットがあるか、はっきりしていますか？

はい

いいえ

( )



5. 出生前検査について「受ける」選択をしようと考えた場合、あなたにとってどのようなメリット、デメリットがあるか、はっきりしていますか？

はい

いいえ

( )



6. 出生前検査の種類について、メリット、デメリットを知ることができましたか？

はい

いいえ

よくわからない検査はどれでしょうか

- トリプルマーカー / クアトロ検査  
 母体血を用いた胎児染色体検査 (NIPT)  
 ソフトマーカーを用いた超音波検査  
 超音波による精密検査  
 羊水検査  
 細毛検査



7. 先天異常にについてやダウン症候群など、情報等を得られる団体などを知っていますか？

はい

少し知っています

いいえ

<ダウン症候群に関する情報を得られる団体>

- 公益財団法人 日本ダウン症協会 <http://www.jdss.o.jp>  
一般社団法人 ヨコハマプロジェクト <http://yokohamapj.org>  
特定非営利活動法人 アクセプションズ <http://acceptions.org>



「サポート」「価値観」「知識」について、現在の満足度や考えの明確さの度合いをまとめてみましょう。

## ステージ 3

ステージ2で明らかになった要素を補うための、具体的な行動内容をお示しします。

	周りからのサポートは足りていますか？
 サポート	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 「いいえ」を選んだ方は、具体的な内容を書いてみましょう

	あなたの価値観について、考えはまとまっていますか？
 価値観	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 「いいえ」を選んだ方は、具体的な内容を書いてみましょう

	検査の内容や障害について、十分な知識は得られていますか？
 知識	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ 「いいえ」を選んだ方は、具体的な内容を書いてみましょう

	現段階で、具体的な選択肢は固まってきたでしょうか？
	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

選択を決めかねる要因として、思い当たるものはありますか？  
「インターネットなどのメディアの情報が気になる」、「パートナーや、それ以外の人との意見が異なっている」、など具体的に書いてみましょう。



- 他の施設にまで行って相談する程ではないけれど、モヤモヤした気持ちが残る時は、外来の助産師・看護師へお声をかけてください
- 遺伝相談（カウンセリング）先へは、パートナーの方と共に来院されることをお勧めします

※つぎの妊婦健診は今までと同じように健診します。  
お困りの際は、お声掛けください



- パートナーの方と十分に話をする時間を持ちましょう



- 困っている事、不安なこと、疑問に思ったことについて、相談先の医師や同席しているスタッフに伝えられるよう、まとめてみましょう  
⇒ステージ1・2を振り返り、相談先の方に伝えるときにお役立てください
- 遺伝相談の際には、3世代（おじい様、おばあ様世代）にわたるご病気や持病についてお聴きしますので、あらかじめ情報を収集されることをお勧めします。

### 引用参考文献（ステージ1～4）

原版：Ottawa Personal Decision Guide for People facing Tough Health or Social Decisions(2012) 開発者の許可を得て翻訳  
原版の開発者：O' Connor,Stacey,Jacobsem.Ottawa Hospital Research Institute & 暫定版英訳者：有森直子、吉江悟、遠藤亜希子、湯浅絵梨（2014年12月）  
暫定版英訳者の許可を得て作成（2015年1月）  
University of Ottawa,Canada.

## ステージ 4

ステージ3までを踏まえて、  
現段階でのあなたの考えをまとめてみましょう。

私は、

- 出生前検査は受けません
- まだ、わからないです。決めるためには下記の事をする必要があると思います。

- 出生前検査は受けたいと、現段階では考えています。

- まだどの検査方法にするか、選択肢について考えていません。
- どの検査方法にするか、選択肢を比較検討しています。
- もうすぐ、どの検査方法にするか選択する予定です。
- すでに選択しています。

具体的には… ( )

この選択は、最善だと

思っています  言いきるには、まだ少し自信がありません

下記までに、施設に相談にいけるようにしたいと思います。

年      月      日 (      週)

それまでにやらねばならないことは下記のことだと思います。

MEMO





遺伝専門外来に行こうと考えているあなたへ



遺伝専門外来施設（相談先）で、あなたの希望や考えを伝えるために、具体的な項目を書き記してみましょう。

#### ●疑問、情報として足りていない部分への質問

内容	相談相手
例) 13 トリソミーについて、もっと詳しく知りたい	医師

#### ●心配なこと、話したいこと（迷っていることや、気持ちの相談など）

内容	相談相手

## ～最後に～

「自身が悩まれ、選択されたことについて  
私どもは支援致します。  
どうぞ、安心してご相談ください。」

